



2022年9月15日

株式会社 阿波銀行

メトロ設計株式会社の「SDGs 宣言書」策定について  
～ お客さまのSDGs 達成への取組みを幅広くサポートします ～

阿波銀行（頭取 長岡奨、本店：徳島県徳島市）は、SDGs の達成に向けて取組む企業を積極的に支援するため、「あわぎん SDGs 対応度診断サービス」を取扱っています。今回、メトロ設計株式会社（代表取締役 小林 一雄、本社：東京都台東区）が、当サービスを通じ、「SDGs 宣言書」を策定されましたので、お知らせいたします。

SDGs や ESG への関心が高まるなか、経営課題の発見や新規事業の創出、企業イメージの向上に繋がることから、多くの企業が SDGs 経営に取組み始めています。

当行は、SDGs の達成に向け、企業の方々と一緒に取組む伴走支援を行っています。今後さらに、お客さまの SDGs 達成に向けた支援を通じて地域経済の発展や産業振興に貢献し、魅力ある持続可能な地域社会の実現に向けて取組んでまいります。

#### 【企業概要】

企業名	メトロ設計株式会社
所在地	東京都台東区下谷一丁目 11 番 15 号
代表者	小林 一雄
業種	建設コンサルタント業
設立	1964 年 3 月 24 日

#### ○あわぎん SDGs 対応度診断サービス

当サービスは、SDGs の達成に向け取組む企業をサポートするため、①SDGs 対応度診断チェックシート（※）によるお客さまの取組状況の評価（評価レポート作成）、②現状認識（評価レポート）を踏まえ、お客さまとの対話による具体的な取組み内容（SDGs アプローチシート）の策定、③環境・社会・経済の3側面でのアプローチシートを基にした「SDGs 宣言書」の策定、をご提供するものです。

また、「SDGs 宣言書」策定後も、取組み内容の継続的なサポートや再評価等により、SDGs の達成に向けた実効性の高い取組み支援を行ってまいります。

※本サービスで使用するチェックシートは地域の課題等を盛り込み、SOMPO リスクマネジメント株式会社と当行が共同開発したものです。

# SDGs宣言書

2022年9月15日



## メトロ設計株式会社 代表取締役 小林 一雄

当社は、国連が提唱する持続可能な開発目標（SDGs）に賛同し、持続可能な社会の実現に向けた積極的な取組みを行ってまいります。

項目	テーマ	取組み内容	①取組みと②数値目標	SDGsのゴール	
社会・経済	労働時間の是正	過重労働、長時間労働、サービス残業に関して、社員全員の共通課題と認識します。発生防止に向けて様々な取組みを行い、PDCAを回しながら適切な労働時間管理を推進します。	① 人材開発による社内分担制度の確立 および労働生産性の向上		
			② 社員ひとりひとりのスキルマップを活用 2025年までに残業時間50%削減 2030年までに残業時間0達成		
社会・経済	コンプライアンス	会社の信用とステークホルダーの利益を守るため、強固なコンプライアンス体制の構築と意識の醸成を図ります。	① コンプライアンスマニュアルの作成 (ISO9001/27001、BCPマニュアルへの統合)		
			② 2025年までに作成		
環境・社会・経済	環境問題の認識・理解の促進	環境問題を自分事として取組むために、環境意識のさらなる向上、環境負荷の低減に努めます。	① (1)グリーン購入の実施 (2)従業員への社内研修会(SUN社員研修)の実施		
			② (1)2025年までにグリーン購入率100% (2)年1回の実施		
環境・社会・経済	地産地消の推進	地域産の材料・食品・製品などの地域資源を積極的に活用し、地産地消・地産外商を推進します。	① (1)台東区内の空き家を活用したシェア住宅事業の事業化 (2)本社ビル屋上を活用した養蜂の地域内経済循環モデルの構築		
			② (1)(2)2030年までに事業化・実現		



### SDGsとは

持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）とは、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを誓っています。